

令和7年度 函南中学校 5月1日(木)第1回学校運営協議会

<校長あいさつ>

- ・140名の通常学級の生徒、4名の支援学級の生徒が入学した。
- ・子どもたちが健やかに、たくましく成長することを目指している。
- ・地域の方と一緒に力を合わせてやっていきたい。
- ・学校運営協議会の様子を一般教諭が参観して、目的を共有していきたい。

<学校教育課より>

- ・学校運営協議会は、令和2年度からスタートした。
- 学校運営協議会を設置した目的の説明(資料参照)

○協働とは？

→一緒に活動をするということ

<校長経営方針グランドデザイン><教育計画、予算について>

○不登校一点突破はよい。町内の小中学校も同様にやってほしい。

生徒の連休明けも心配だが、先生方の心的な面も心配。

目に見える面と見えない面も配慮しないといけない。

子どもたちを育てることも大事だが、若い教師を育てることも大事。

○グランドデザインはどうしているか？

→ホームページにアップしている。もっと保護者にも周知していきたい。

○先生方の思いをもっと保護者に丁寧に伝えるべきだ。

45分授業等についても説明したい。

○不登校生徒に対する対応は？うまくいかなかったときに、助けてくれたのは友達かも。

→不登校が多いクラスもある。担任が窓口になっている。支援センターが中心となって、不登校生徒に対する協議もやっている。ステップルームという校内適応教室もある。生徒の状況によって使い方もさまざま。

○ステップルームを見たら楽しそうだった。三島地区には、学校にそういう場がないので、函南中学校は進んでいる。前向きにチャレンジし、「チェンジ」しているのがよい。

○ステップルームの場所がよい。他の生徒に会わなくてよい。

○意見をもらうだけでなく、「協働」してやっていけることを検討していければ。

○保護者としては、知らないことが多い。学校の思い、地域の思いを、もっと多くの保護者に伝えた方がよい。

○間宮区の行事の連絡を保護者にできるか？組ごと集まっているのでそれも伝えたい。

自分が住んでいる自治区で活動してもらいたい。

→昨年度から地区ごとマメールで連絡をしている。

○予算は町費のみか？

→足りないので、PTA 費を使わせてもらっている。

<函南町総務課より>

・函南町の予算も少ない。なかなか学校に予算を出せない現状がある。

○中庭にあるベンチも古い。作ってあげたいが。

<ボランティアについて、その他>

○学校運営協議会の資料を PTA 総会の資料にのせることもできる。啓発活動を。

○保護者として、これだけ子どもたちのことを話しているとは思わなかった。

他の保護者にも伝えていきたい。

○保護者の地区長が区にもっと意見を言ってほしい。地区によって差がある。

○実働として中学生が一番頼りになる。中学生には、地区の活動に参加してほしい。

○地区長と区長で連絡を取り合ってほしい。(PTA に依頼)

○丹那小では、学校運営協議会の中に、委員ではない区長も呼んでいる。

○生徒の地区長が PTA の地区長の顔を知っておくようにしたい。会話できるように。

○委員には、3 年生の進路面接に参加してもらいたい。

学校は、その準備を事前しておく必要がある。